

株式会社 U S E N  
2005年度8月期 決算説明会

---

2005年10月20日

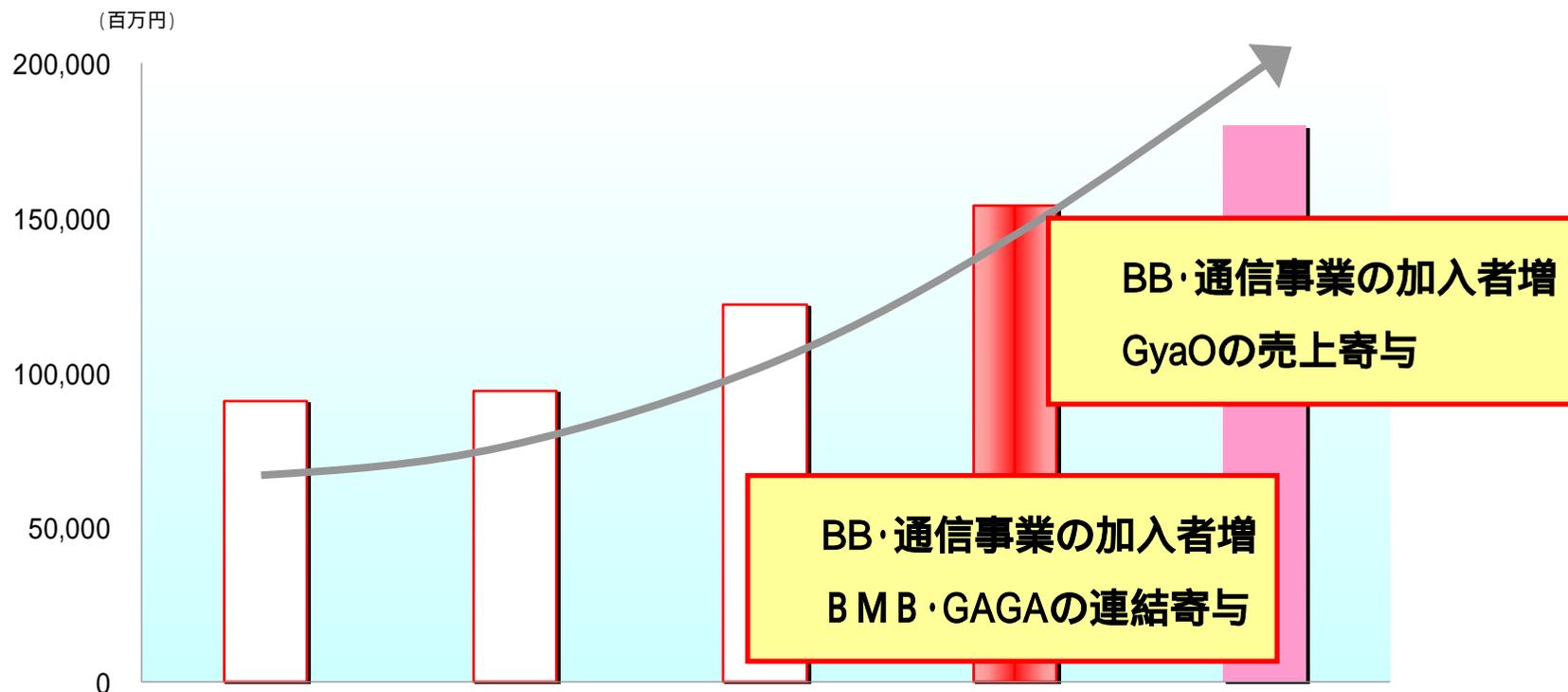
第1章 2005年8月期(第41期)決算ハイライト .....	2
第2章 ブロードバンド・通信事業ハイライト .....	7
第3章 GyaOを中核とした「Media Contents Company」へのシナリオ .....	10
第4章 2006年8月期(第42期)業績予想 .....	18

# 第1章 2005年8月期(第41期)決算ハイライト

# 経営成績及び業績予想 - 売上

## ■ 売上の推移と予想

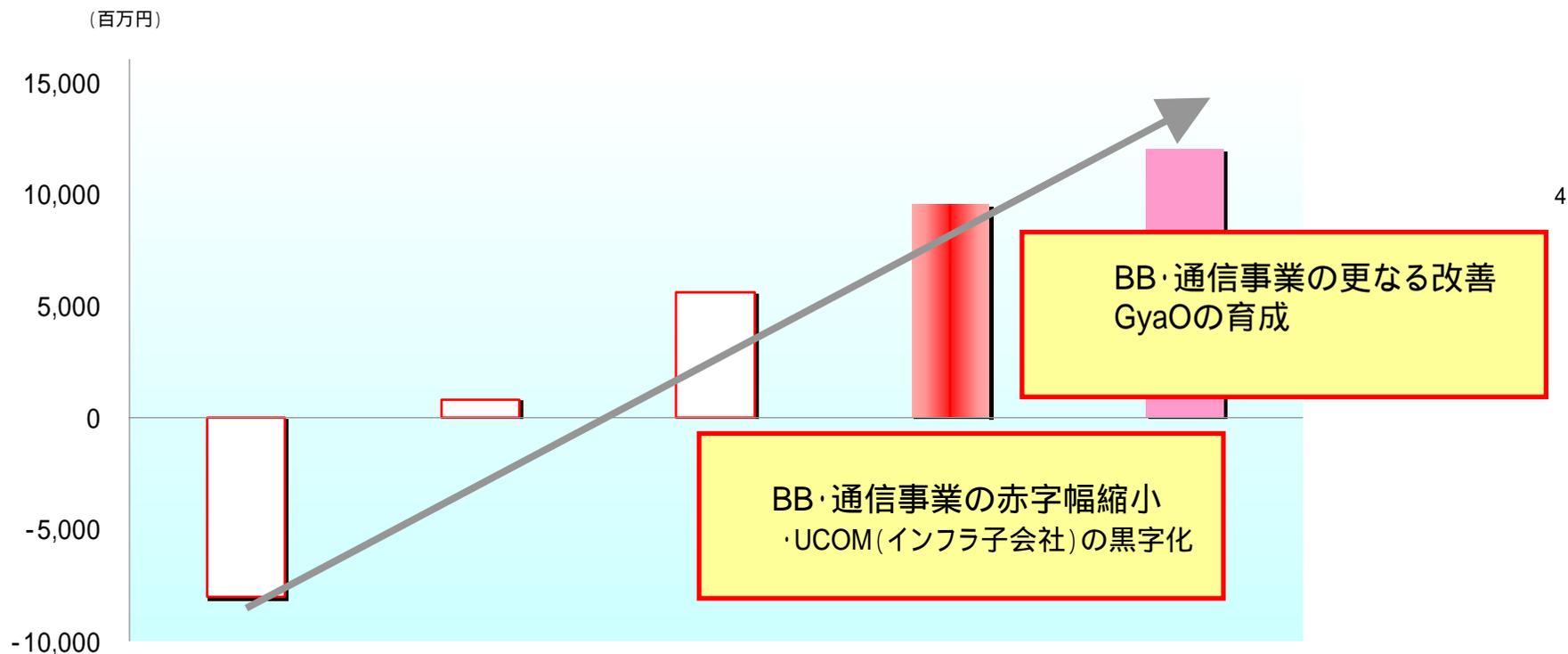
2002年8月期	2003年8月期	2004年8月期	2005年8月期	2006年8月期
通期 90,958	通期 93,892	通期 121,913	通期 154,148	通期 180,000(予想)



# 経営成績及び業績予想 - 営業利益

## ■ 営業利益の推移と予想

2002年8月期	2003年8月期	2004年8月期	2005年8月期	2006年8月期
通期 8,039	通期 776	通期 5,616	通期 9,531	通期 12,000(予想)



# 経営成績サマリー

## ■ 前期実績と当期実績の比較 (連結)

	前期実績 (2004.8期) (百万円)	当期実績 (2005.8期) (百万円)
売上	121,913	154,148
営業利益	5,616	9,531
経常利益	4,605	6,274
純利益	1,718	27,707

## ■ 時価総額



## ■ 減損会計処理の早期適用

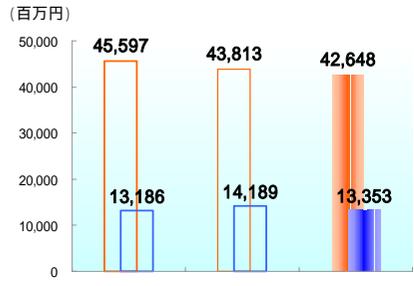
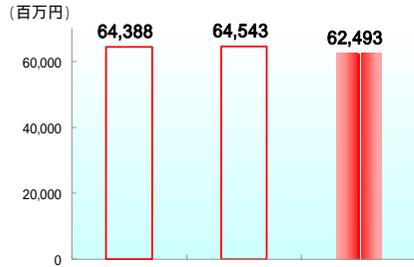
当期特別損失 (連結) 357億 (200億) 括弧内は中間期

固定資産減損損失	134億	(100億)
前払代理店手数料除却損	34億	(25億)
不要電線撤去費	27億	(9億)
貸倒引当金繰入額(特別損失)	26億	(22億)
固定資産除却損	23億	(8億)
棚卸資産評価損	23億	(6億)
関係会社株式評価損	22億	-
違約損害金	19億	(10億)
退職給付会計基準変更時差異償却	14億	(7億)
投資有価証券評価損	13億	-
その他	22億	(14億)

# セグメント別サマリー

## 放送事業

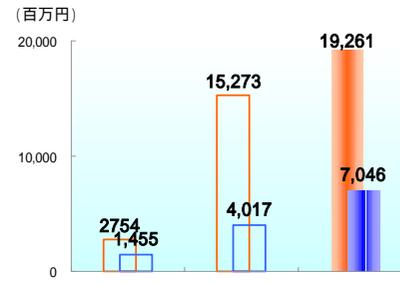
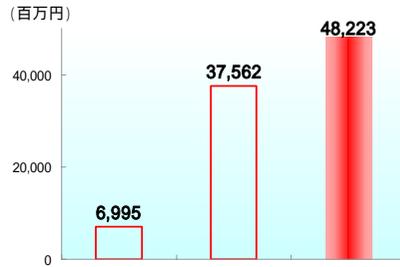
2003.8期 2004.8期 2005.8期



安定的な収益を確保

## カラオケ事業

2003.8期 2004.8期 2005.8期

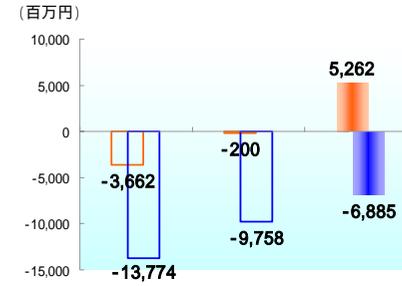
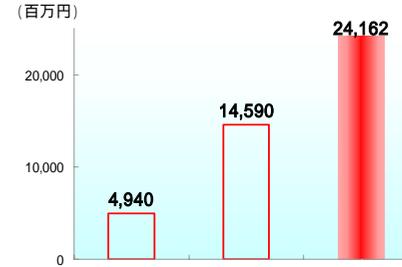


M & Aの効果  
安定的な伸び

## BB・通信事業

\*1

2003.8期 2004.8期 2005.8期

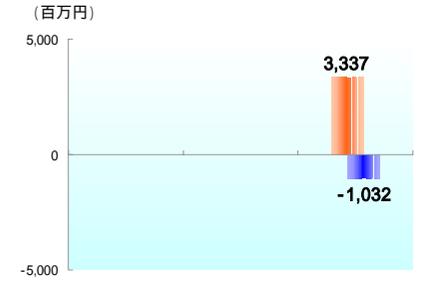
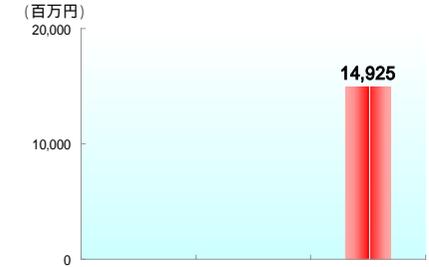


増収増益  
今期前期より  
獲得営業の積極投入

## 映像・コンテンツ事業

\*2

2003.8期 2004.8期 2005.8期



今後、期待する事業

\*1 当期より、その他事業に含まれていた電話事業、インターネット事業をBB・通信事業へ新たに組入れ

\*2 当期より、映像・コンテンツ事業を新設

## 第2章 BB・通信事業ハイライト

7

# BB・通信事業 - 集合住宅における顧客獲得

特化した市場で件数を伸ばし、シェアを維持している。また、都市部での集合住宅のシェアは、約40%と推測される。

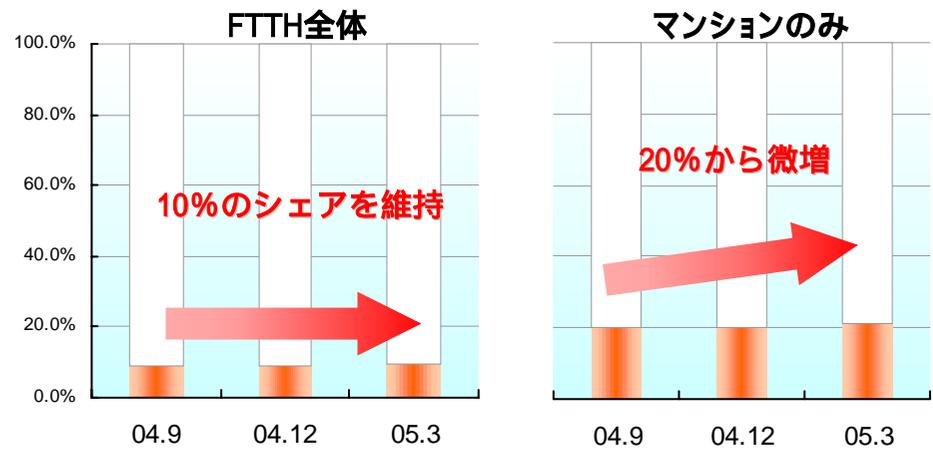
## ■ 月次加入者獲得状況と累計取付数



累計契約者数 530,450件  
(前年同期比 177%)  
累計取付数 362,828件  
(前年同期比 199%)

2005年8月度の進捗状況のプレスリリースより、  
契約時点から1年6ヶ月以上経過後も取付けに至っていない契約数を、  
月次契約者数より差引き、新たな契約者数の定義として発表しております。

## 全国FTTHシェア



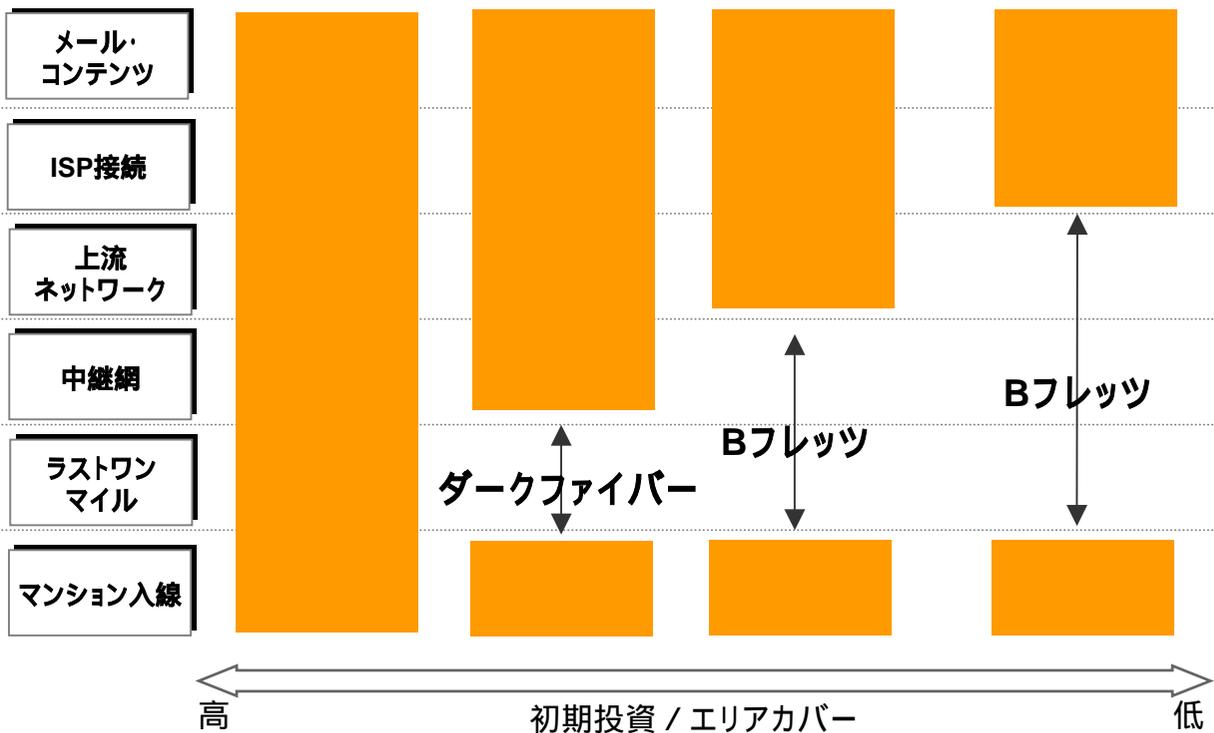
## 都道府県別FTTHシェア



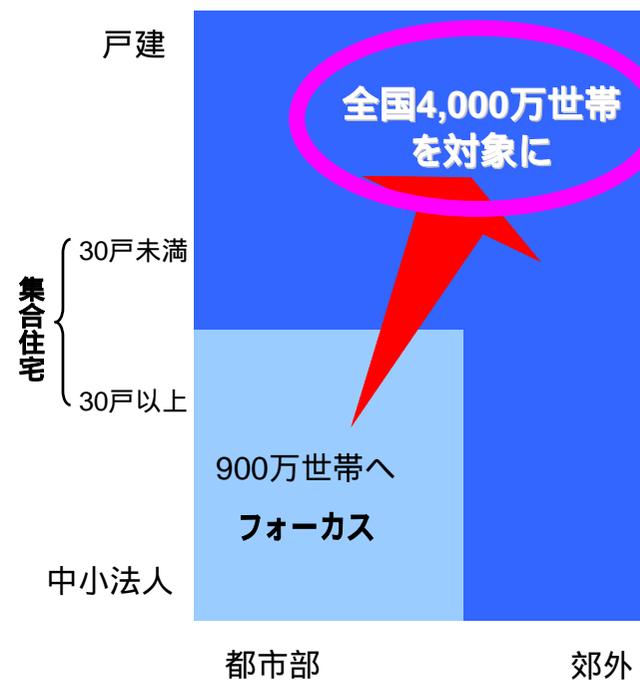
# BB・通信事業 - 全国展開モデル

光ファイバーインフラ事業でのNTTとの協業により、より投資効率と収益率の高いモデルで、市場へのリーチを高める。

## 事業展開の推移



## ポテンシャルマーケットの拡大

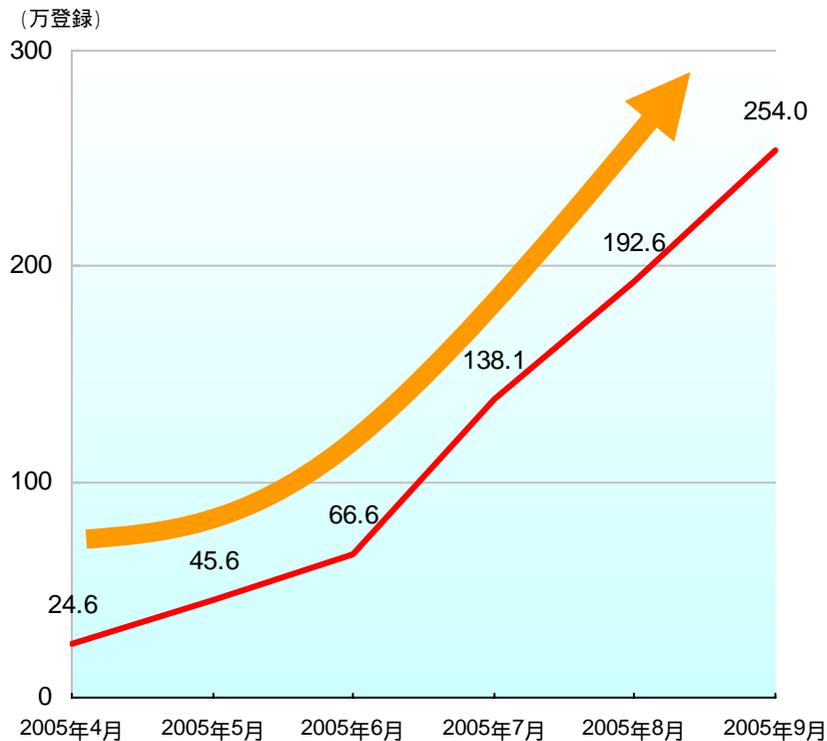


## 第3章 GyaOを中核とした「Media Contents Company」へのシナリオ

# GyaOの現状 - 登録者数

圧倒的な利用者増により、予定以上の登録者数の伸びを示す。

## 登録者数



## 総ページビュー数(週次)



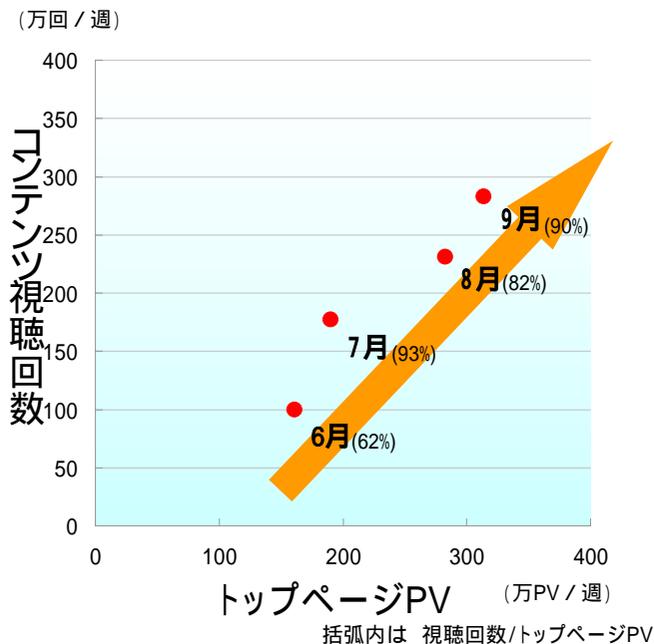
国内コンテンツポータルサイトのPVにて、1位。(Alexa Web Search)

100万PVから2倍になるまでわずか2ヶ月。

# GyaOの現状 - 視聴時間

視聴回数、1人あたりの視聴時間も順調に伸びており、結果として、この事業の鍵となる総視聴時間も伸びている。

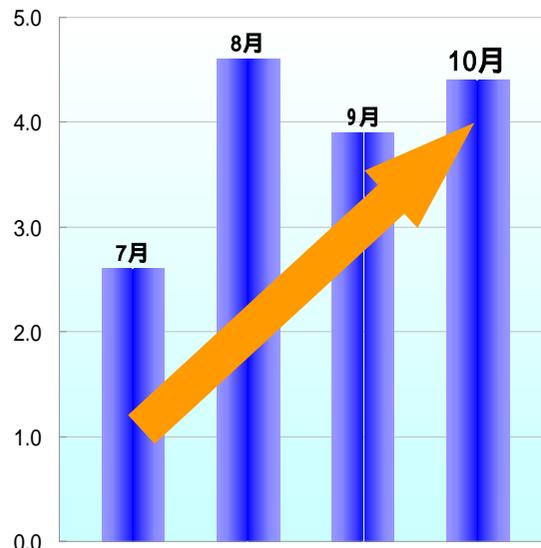
## トップページPVと視聴回数との相関



PVの伸びに連動して  
順調に視聴回数が伸びている。

## 1人の視聴時間

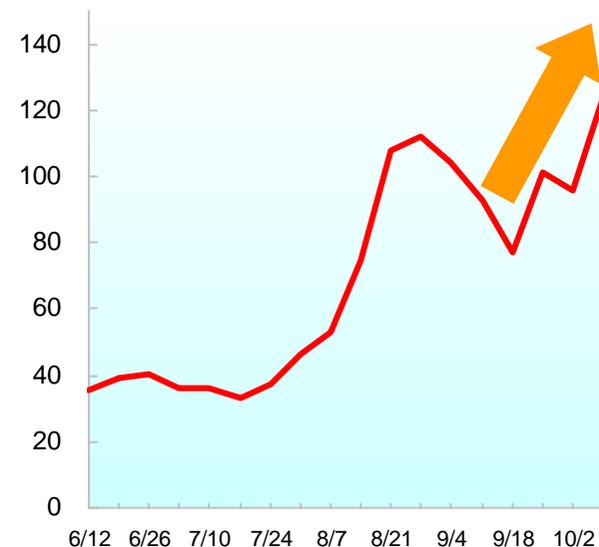
(アクティブユーザー当たりの視聴時間/月)  
(時間)



1人あたり視聴時間も  
伸びている。

## 総視聴時間(週間)

(万時間)



結果として、総視聴時間も  
順調に伸びている。

# GyaOの現状 - コンテンツ調達面での提携

TV局、プロダクション等との試行的配信が進んでおり、他社には追随出来ないレベルまで来ている。

## TV局

### TBS

TBS NEWS-iを配信

### テレビ東京

TV放送後のシカゴマラソンを配信  
音楽番組の放送されなかった特典映像を配信

### BS朝日

音楽番組を共同製作し、互いに放送と配信

## レーベル・プロダクション

### AVEX

AVEX所属アーティストの新曲クリップを配信

### BMB

カラオケ楽曲の配信

### 東芝EMIとCODE

音楽番組の配信

## その他

### 韓国コンテンツホルダー

冬のソナタなどの人気ドラマ配信

### GAGA

保有コンテンツの配信

### 大和証券

証券ニュースの配信

### バンダイナムコホールディングス

エウレカセブンの放送と配信

TV局との良好な関係のもと、  
魅力的なコンテンツの配信

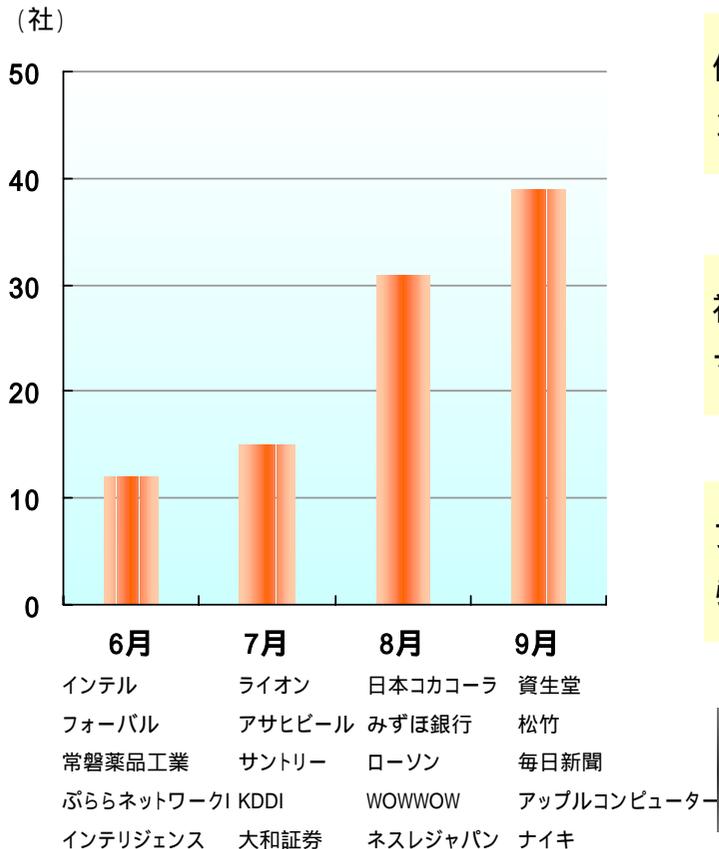
グループ会社を通し、  
様々なパートナーと協業

様々なコンテンツホルダーとの  
Win - Winの関係

# GyaOの現状 - 広告認知

クライアントからメディアとして認知されつつある。又、ユーザーからの広告としての認知も高い。

## クライアント数の推移



## クライアントからの評価

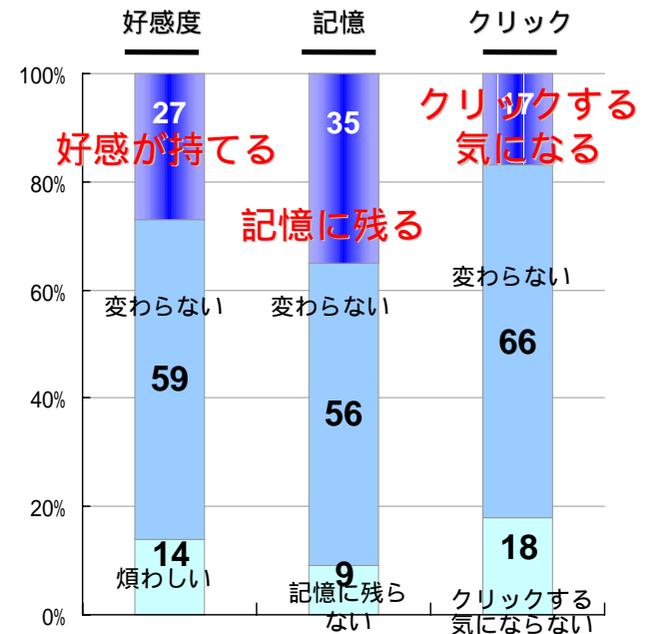
他メディアより、ターゲットの視聴指標が3倍良かった。

視聴ターゲットのデータ分析ができ、マーケティングにも便利なメディアである。

ブランドの確立や、商品力の訴求性を上げられるターゲット別広告に期待している。

新しいメディアとして、期待されている。

## 視聴者からの評価



従来の広告と比較し好印象をもたれている。

# USENグループの競合優位 - NTTグループとの協業

インフラ、コンテンツ面でNTTグループと協調関係を組むことで、BB上で起こる“通信・放送融合市場”での覇者となることを目指す。

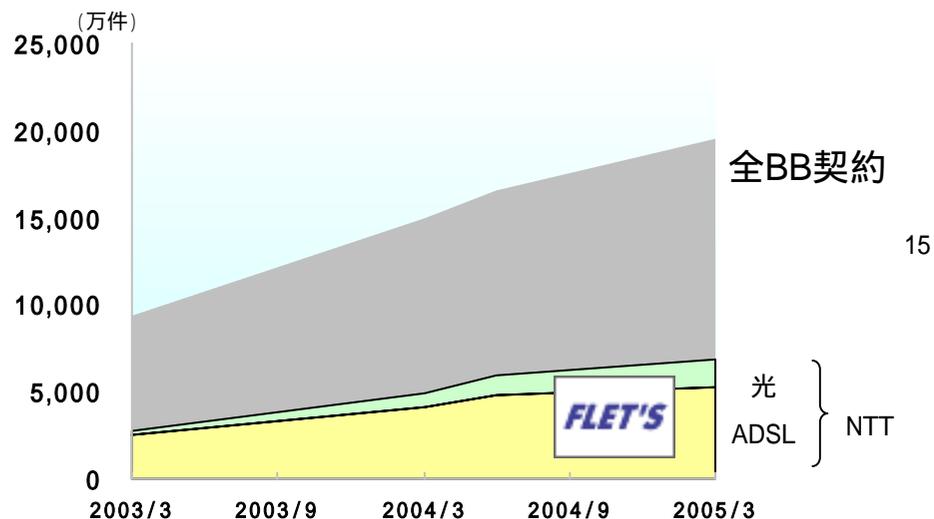
…さらに、視聴者を誘導してくれる可能性のあるISPなどとの連携も進める予定。

## NTTとの連携



コンテンツ・インフラ両方での提携による  
「通信・放送融合市場」での覇者へ。

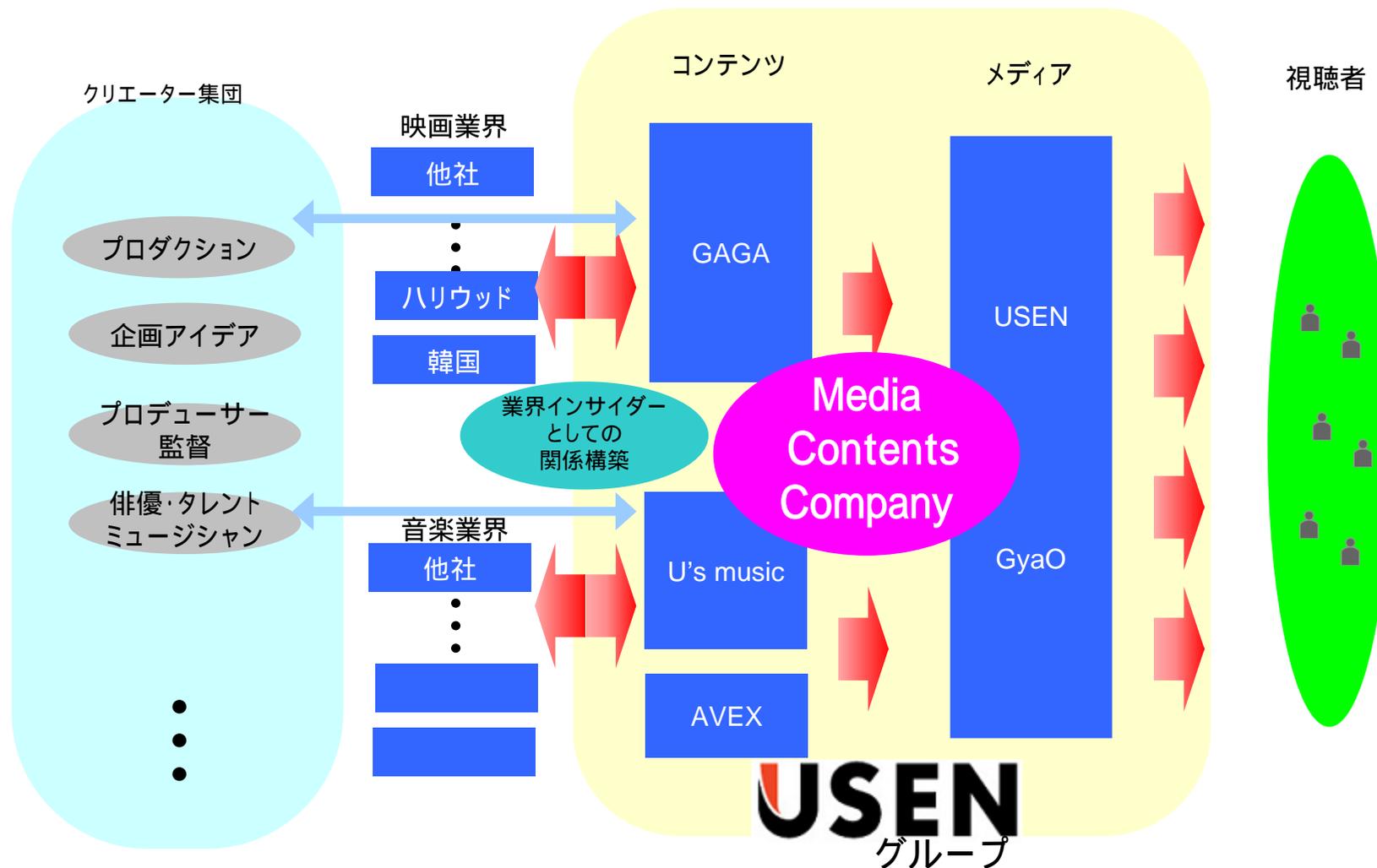
## BBユーザーの中でのフレッツユーザー割合



35%のブロードバンド人口に対して、  
安定的に配信する環境へ。

# USENグループの競合優位 - 業界でのポジション

USENグループ内各社にて、コンテンツを保有・権利処理できる機能を持っていることが、スピード感において圧倒的な優位性となっている。また、それを通し、グループ外のプロダクション・芸能界なども太いパイプがあり、「面白いコンテンツ」を作れる組織となっている。今後は、この組織力をより強め、“Media Contents Company”を目指す。



# 将来の発展シナリオ - 目指すべきモデル

楽天が流通を、ヤフーが情報を“IT”により新たなモデルを作り、業態を拡大していったことと同様、USENは“放送”を“IT”により新たなモデルを作り、新事業へ展開する。

“展開”  
収益モデル

集客力をリソースに  
他事業への展開

“初期”  
収益モデル

“視聴者数 = メディアのパワー”

動画コンテンツサイトでの独自の  
展開を目指す。

ECサイト・トラベルサイト・チケットetc

コンテンツ  
ポータルサイト

放送

GYAO

ヤフーショッピング  
ヤフートラベル  
ヤフーファイナンス  
ヤフーリクナビ  
ヤフーグルメ

情報検索  
ポータルサイト

情報

YAHOO!  
JAPAN

楽天証券  
楽天トラベル  
楽天ブックス  
楽天カード  
ShowTime

ネット通販  
ポータルサイト

流通

楽R天  
ICHIBA

USEN

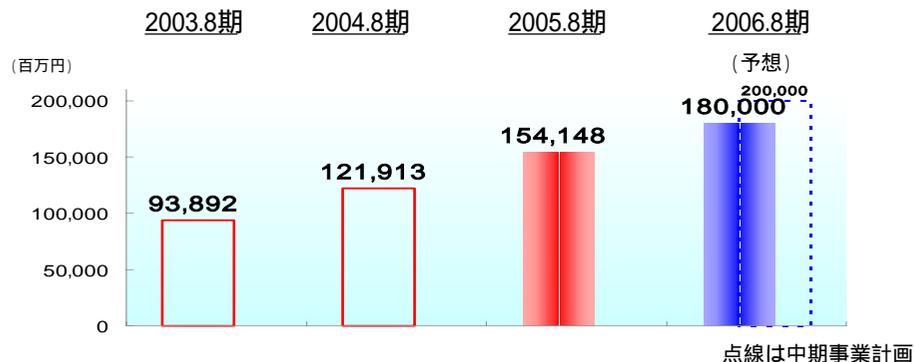
USEN GROUP

## 第4章 第42期(2006年8月期)業績予想

# 業績予想

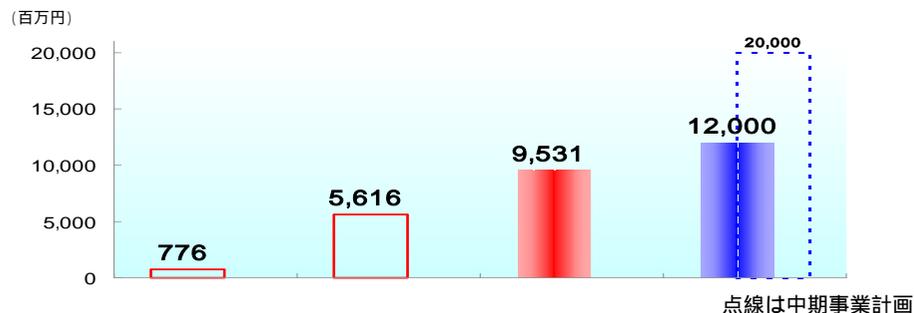
## 業績の推移と予想

売上



BB顧客の増加及び、GAGA・GyaOの業績の伸びにより、成長。

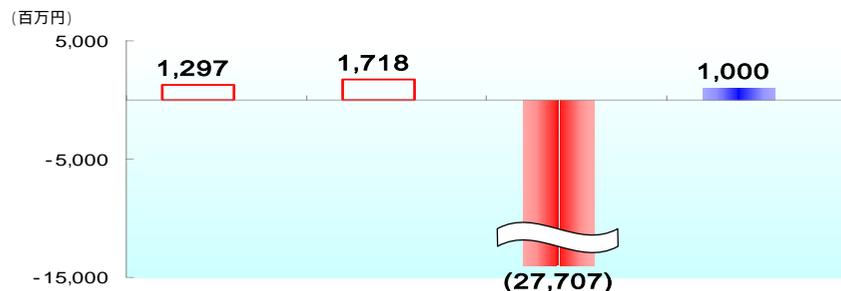
営業利益



BBにおける新規獲得増のために当初計画より、営業コストの増加。

早期、GyaOのコンテンツポータルサイトとしての地位確立のために、積極的なコンテンツ投資。

純利益



金融費用 (約40億)  
各社少数持分損益 (約30億) による影響。